

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する

BFH 認定施設として、母乳率は 64.7%と昨年度より低下はあるものの、認定更新手続きは無事終了し更新することができた。DMAT インストラクターを中心に災害シミュレーションを 3 回/年で実施し、アクションカードの作成とマニュアルの修正を行った。

2) 病院経営に参画する

産後ケア事業の導入に向け、多職種を含むワーキンググループを立ち上げ毎月実施した。患者の需要と収益性を検討し、病院内の運用方法や経費等の実現可能性について話し合っている。現在個室希望があっても個室が空かず利用できない患者の集計を行い、延べ月平均 49.8 人の個室待機者があった。そのため最低 2 床の個室を追加すれば、希望者が全員個室に入れることがわかった。超過勤務を削減するために、紙運用しているベビー体重経過表と助産録の見直しを行った。超過勤務が削減したかは来年度評価したい。また、ベビーのコスト計算を紙運用としていたが、電子カルテの処置コストに一元化した。MFICU に入院した妊婦の上限 14 日間の MFICU 加算を確実に取得していくため、助産師が入退室者を医師とともに管理する MFICU 加算表を作成した。その結果 MFICU 病床利用率を前年度 62%から今年度 79.6%に上昇させることができた。6A 病棟は、当該科以外の他科の受け入れを積極的に行い、前年度病床利用率 54.8%を今年度 63%へ上昇させることができた。

3) 患者の視点に立って医療安全を推進する。

患者の声を取り入れ、病棟独自の面会基準を医師や病院と検討し、産後面会と立ち会い面会を再開させた。病院の面会基準より厳しくしており、現在感染拡大は起きていない。分娩の直接介助者のゴーグル着用率は 100%を維持している。

4) 6A・MFICU 病棟の役割を見定め、各個人のレベルにあった能力開発を推進する。

4 月に助産師 DMAT インストラクター合格者 1 名を出すことができた。新人も含めスタッフの全員が NCPR の A コース以上を取得でき、新規インストラクターは 2 名合格することができた。ラダー認定挑戦者 28 名が全員合格することができた。看護研究は 2 名が取り組み、昨年度の取り組みを院外学会発表 5 件行うことができた。

5) 助産、看護の先輩として学生指導にかかわる

分娩介助指導手順と MFICU オリエンテーションの見直しを、学校と連携し実施した。ほとんどの看護学生は母性観等を述べることができたが、さらに学生自身の母性観を体感できるように、赤ちゃんとのふれあい(抱っこ)の機会を設けた。スタッフの地域への派遣については出前講座 1 名、学校講師 12 名、新規講師 5 名を増加させることができた。

6) 職場、元気の出る職場づくりを推進する

パートナーシップマインドは 100%を達成し PNS 看護体制を強化することができた。働き方改革は、スタッフの個人的事情を加味した要望を取り入れ、夜勤専従 2 名、非常勤職員の契約時間調整を行った。

2. 病床運営状況

表 1 令和 6 年度 病床運営状況

看護 単位	収容可能 病床数 (床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数 (人)	平均在院 日数(日)	病床 利用率 (%)	病床 稼働率 (%)
			新入院 患者数 (人)	退院 患者数 (人)				
6A	46	産婦人科 乳腺甲状腺科	78.3	104.6	29.0	9.6	63.0	70.5
MFICU	6	産科	8.9	0.7	4.2	26.5	79.6	70.5

重症加算病床		有料個室		死亡者数(人)
病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)	
2	73.8	4	104.4	4

3. 看護体制

表 2 令和 6 年度 看護体制(令和 6 年 4 月 1 日現在)

看護単位	配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
6A	33	PNS [®]	3:3
MFICU	16		2:2

4. 看護統計

1)重症度、医療・看護必要度

表 3 令和 6 年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度Ⅱ

※2024.6 から急性期一般入院料1必要度区分Ⅱとする

基準を満たす 患者の割合(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		34.1	40.8	28.6	27.7	22.5	38.5	49.5	43.4	43.4	46.8	40.4	38.1

2)家族教育等

新生児取り扱い総数	母親学級参加人数 (実施回数)	両親学級参加人数 (実施回数)	わいわいサークル参加人数 (実施回数)
2,554 人(月平均 213 人)	25 人(18 回)	49 人(20 回)	4 人(2 回)

3)部署データ

表 4 分娩件数、帝王切開件数と母体搬送件数の推移

	令和 5 年度	令和 6 年度
分娩件数	354	353
帝王切開件数(再掲)	138	136
緊急帝王切開件数(再掲)	71	93
母体搬送件数	111	99